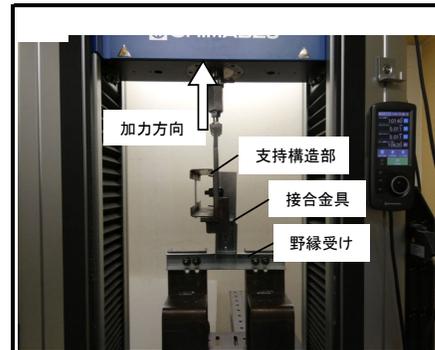
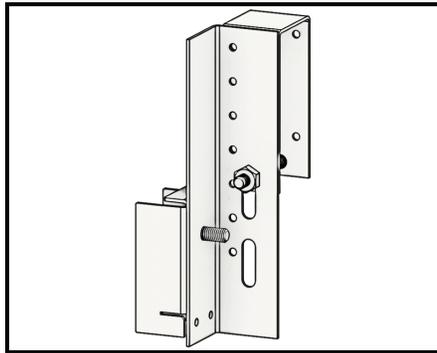


## 試験成績書



試験部材 : KIRIIアングルクランプL100(3分六角L=75)

試験項目 : 鉛直方向

株式会社 桐井製作所

開発部 技術開発グループ

〒100-6605

東京都千代田区丸の内 1-9-2

グラントウキョウサウスタワー5階

作成日 : 2026/3/4

Tel: 03-4345-6005

Fax: 03-6895-0220

検印	作成
野 曾 原	小 村

◇ 試験概要

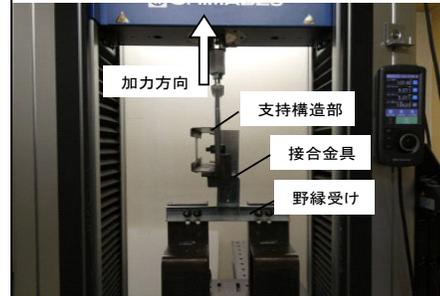
品名 : KIRIIアングルクランプL100(3分六角L=75)  
 試験項目 : 鉛直方向引張  
 試験機 : (株)桐井製作所葛西試験場内 (株)島津製作所オートグラフ AGX-V2

試験速度 : 3mm/min  
 試験体寸法 : 300mmx300mm  
 使用部材 : 支持構造部 : C-100×50×20×2.3  
 接合金具 : KIRIIアングルクランプL100(3分六角L=75)  
 野縁受け : C-40×20×1.6

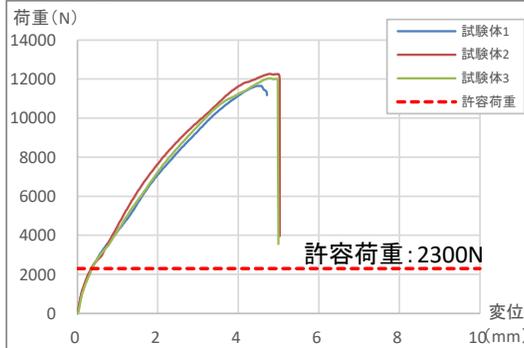
試験方法 : 試験架台に野縁受けをボルト4本で固定し、接合金具により支持構造部と野縁受けを接合し、調整可能長さを最大にして、φ4.8x25ビス2本、φ4.2x16ビス3本で固定する。支持構造部に取り付けた加力治具をオートグラフへ接続し、鉛直上向きに引張加力した際の荷重と変位を計測する。

評価方法 : 試験体1、2、3の第1ピーク荷重のうち、最小値に安全率(2/3)<sup>3</sup>を乗じた値を損傷荷重とし、損傷荷重に(2/3)を乗じた値を許容荷重とする。

全景



◇ 荷重-変位曲線



加力部



◇ 試験結果

	第1ピーク荷重	第1ピーク荷重時変位	終局状況
	N	mm	
試験体1	11653.6	4.52	支持構造部にアングルクランプL100を留め付けるφ4.8ビスの破断
試験体2	12270.1	4.77	
試験体3	11671.0	4.37	
平均値	11864.9	4.56	
最大値	12270.1	4.77	
最小値	11653.6	4.37	

終局状況



$$\begin{aligned} \text{損傷荷重} &: \text{第1ピーク荷重} \times (2/3)^3 = 11653.6 \times 8 \div 27 = 3452 \text{ N} \\ \text{許容荷重} &: \text{損傷荷重} \times (2/3) = 3452.0 \times 2 \div 3 = 2301 \text{ N} \end{aligned}$$

$$\therefore \text{許容荷重} = \underline{\underline{2300 \text{ N}}}$$

試験日 : 2026/2/13  
 試験者 : 小村

検印	作成
野 曾 原	小 村

◇ 試験概要

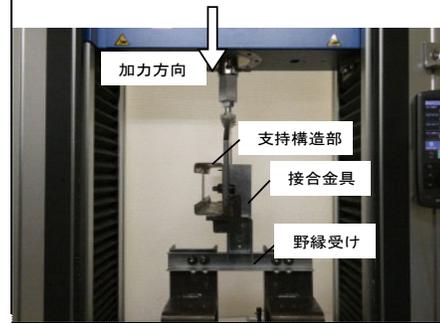
品名 : KIRIIアングルクランプL100(3分六角L=75)  
 試験項目 : 鉛直方向圧縮  
 試験機 : (株)桐井製作所葛西試験場内 (株)島津製作所オートグラフ AGX-V2

試験速度 : 3mm/min  
 試験体寸法 : 300mmx300mm  
 使用部材 : 支持構造部 : C-100×50×20×2.3  
 接合金具 : KIRIIアングルクランプL100(3分六角L=75)  
 野縁受け : C-40×20×1.6

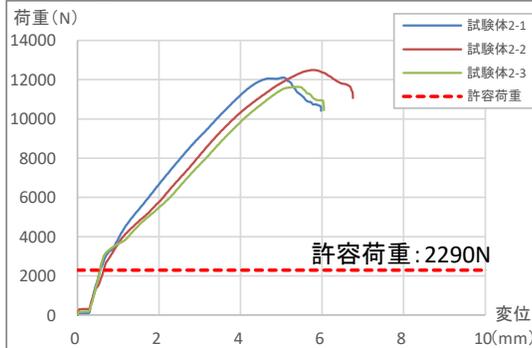
試験方法 : 試験架台上に野縁受けをボルト4本で固定し、接合金具により支持構造部と野縁受けを接合し、調整可能長さを最大にして、φ4.8x25ビス2本、φ4.2x16ビス3本で固定する。支持構造部に取り付けた加力治具をオートグラフへ接続し、鉛直下向きに圧縮加力した際の荷重と変位を計測する。

評価方法 : 試験体1、2、3の第1ピーク荷重のうち、最小値に安全率(2/3)<sup>3</sup>を乗じた値を損傷荷重とし、損傷荷重に(2/3)を乗じた値を許容荷重とする。

全景



◇ 荷重-変位曲線



加力部



◇ 試験結果

	第1ピーク 荷重 N	第1ピーク 荷重時変位 mm	終局状況
試験体1	12103.1	5.05	支持構造部にアングルクランプL100を留め付けるφ4.8ビスの破断
試験体2	12494.9	5.77	
試験体3	11630.5	5.42	
平均値	12076.1	5.42	
最大値	12494.9	5.77	
最小値	11630.5	5.05	

終局状況



$$\begin{aligned} \text{損傷荷重} &: \text{第1ピーク荷重} \times (2/3)^3 &= 11630.5 \times 8 \div 27 &= 3446 \text{ N} \\ \text{許容荷重} &: \text{損傷荷重} \times (2/3) &= 3446.0 \times 2 \div 3 &= 2297 \text{ N} \end{aligned}$$

$$\therefore \underline{\underline{\text{許容荷重} = 2290 \text{ N}}}$$

試験日 : 2026/2/13  
 試験者 : 小村